

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.01.09~01.20

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月11日(水)

中国、輸出20%増146兆円
昨年/貿易黒字3年連続減
中国の2011年の輸出は前年比20.3%増の1兆8986億ドル(約146兆円)と過去最高、3年連続の世界一が確定。輸入は24.9%増の1兆7435億ドル。貿易黒字は1551億ドル、3年連続で減少。(時事=3面)

田淵電機、江西省に生産拠点
エアコン用部品/月産40万台
田淵電機は、江西省宜春市に室内エアコン用リアクターの生産拠点を新設する。合併を設立、月40万台規模で開始。中国市場に年3000万台を供給してシェア20%超の獲得を狙う。(8面)

1月12日(木)

中国内陸部に出店攻勢
コンビニ大手
コンビニエンスストア大手の中国内陸部での出店競争が激化。成都市ではセブンイレブンが40店を開き先行。近くファミリーマートも展開。ローソンは重慶市での出店計画を上方向修正。(13面)

日立の小泉フェロー、院士に
中国工程院/日本人4人目
中国の科学技術に関する最高研究機関・中国工程院は、新たな院士の一人に日立製作所の小泉英明フェローを選んだ。脳科学や教育分野における中国での業績が評価された。日本人4人目。(19面)

1月13日(金)

新車販売、13年ぶり低い伸び
昨年、台数は世界一/1850万5100台
中国の2011年の新車販売台数は、前年比2.5%増の1850万5100台と、3年連続世界一に立ったが、98年以來13年ぶりの低い伸びにとどまった。中国自動車工業協会が発表した。(時事=3面)

日本電産トーソク、現調90%に
中国製造の変速機部品の部材
日本電産トーソクは、2012年度内に、



中国で製造している自動車用変速機部品に使う部材の現地調達を10%未満から90%超に。中国で量産を始める電磁弁やコントロールバルブで推進。(5面)

大連に次世代環境都市
NEC/港湾に管理システム
NECは、野村総合研究所と共同で提案していた大連市のスマートシティ(次世代環境都市)プロジェクトの具現化に乗り出す。大連港湾プロジェクトで監視・管理システムを構築する。(9面)

「香港証取」スピードが魅力
上場が活発化
中国の金融センターである香港証券取引所。ここにきて世界最大級の規模を持つ中国市場での事業展開をにらみ、海外



香港証取はIPOで3年連続世界一(2兆5000億円)

企業が香港株式市場に上場する動きが活発化している。(深層断面=28面)

1月16日(月)

PCBドリル18%増産
ユニオンツール/東莞工場
ユニオンツールは、2012年11月期中にプリント配線板用超硬ドリルの中国生産を増強する。東莞工場に約6億円投資、月産能力を18%増の720万本に引き上げる。春から需要が回復とみる。(8面)

中国・アジア市場進出を支援
マーチャント・バンカーズなど
マーチャント・バンカーズなど2社は、中国やアジア市場に進出する日本企業の支援事業に乗り出す。そのためファンド運営事業と、事業提携などのアドバイザリーの新会社を設立する。(20面)

1月17日(火)

椿本チエイン、天津に製造拠点
産業用チェーン/ハイエンド中心
椿本チエインは、天津市に産業用チェーンの製造子会社を設立した。10月に量産を開始する予定。搬送用チェーンの生産からスタートし、ハイエンド品を中心に生産品種を拡充する。(7面)

ASIA

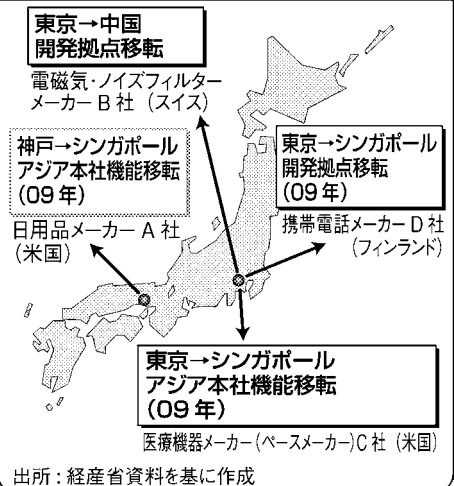
1月9日(月)

ヤマハ発、インド生産3倍
2輪車年150万台/工場新設
ヤマハ発動機は、2015年をめぐに、インドで2輪車の年産能力を3倍の150万台に。総投資額は120億円。ニューデリー郊外の既存工場を増強。新工場の建設を検討。低価格モデルも拡販。(1面)

1月10日(火)

日本をアジア拠点に
国を挙げ「外資誘致」
アジア拠点化の立地の推進。国は、空洞化を警戒する一方、成長市場のアジアをはじめとする外資企業の誘致を積極化し、国内の雇用確保や立地の競争力強化を狙う。(深層断面=16面)

外資系企業の海外流出状況



金融の規制緩和を検討
デリー・ムンバイ貨物鉄道構想
デリー・ムンバイ間産業大動脈構想(貨物専用鉄道)の実現に向けてインド政府が、海外からの資金調達を妨げている金融分野の規制を緩める検討。日本からの投資が加速する。(2面)

1月11日(水)

ジェイテクト、タイに新工場棟
パワステ5割増強
ジェイテクトは、タイ子会社に自動車用電動パワステアリングを製造する新工場棟を建設する。生産能力5割増強。2013年に稼働。投資額は5億6億円。部品の現地調達増加。(5面)

射出成形機、増産急ぐ
タイ復旧/中・米輸出増
射出成形機業界の2012年は、経営環境が改善しそうだ。タイ洪水の復旧需要があるほか、米国、中国からの受注増に期

春節(旧正月)を前に、上海市内の駅で故郷への列車を待つ人々(ブルームバーグ)

日立化成、中国で電子材料開発
現地ニーズに対応

日立化成工業は、中国で現地のニーズに対応した電子材料の開発を始める。まずプリント配線板用の感光性フィルムの改良からスタートし、数年内に現地でーから開発した製品を発売。(19面)

日本アジア投資がファンド
中国の成長企業に投資/24億円

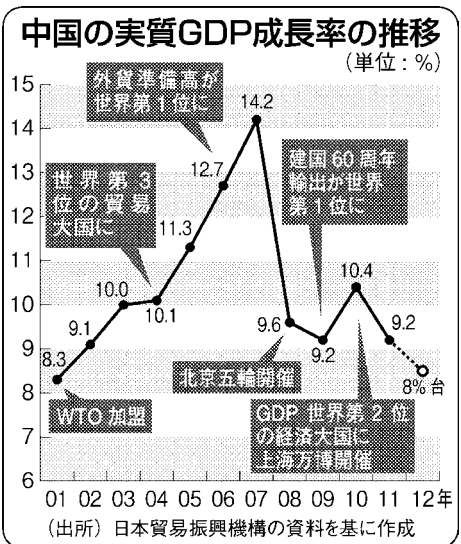
日本アジア投資は、蘇州市呉中区人民政府傘下の呉中VCと協働し、中国の成長企業に投資する人民元建てファンドを設立した。当初設定額は2億円(約24億円)で、合併会社が運用する。(25面)

電通大、量子光学で共同研究
中国・山西大学と交流協定

電気通信大学は、中国の山西大学と交流協定を結ぶ。量子光学の分野から共同研究や学生の相互受け入れを始め、情報通信やロボット工学などの分野に広げていく。3月末の調印を予定。(27面)

1月18日(水)

中国 - 経済減速
GDP4四半期連続低下
中国経済の減速が鮮明になってきた。2011年第4四半期のGDP成長率は8.9%で4四半期連続低下、11年通年のGDP成長率は9.2%で2年ぶり1ケタ台。成長にブレーキ。(深層断面=34面)



の工場や拠点向けにERPやITインフラ構築を手がける。(14面)

三井化学、タイで増産
PPコンパウンド/年14万トン
三井化学と子会社のプライムポリマーは、自動車バンパーなどに使うポリプロピレン樹脂混練(PPコンパウンド)の生産をタイで増強する。年産能力を1万8000トン増の14万トンに。(15面)

1月19日(木)

土壌で排ガス浄化 - 韓国に供与
フジタ/海外で初設置
フジタは、自動車の排ガスを土壌に通して汚染物質を吸着・分解する浄化システム「EAP」の技術を韓国の環境関連事業を手がけるNOXKOREAに供与。日本以外で初めて設置。(1面)

日中韓で専門家会合
日欧の技術特許分類を融合
経済産業省は、日本、中国、韓国の3カ国で世界的に優位な日本と欧州の技術特許分類融合に向け専門家会合を創設、2月末にも第1回会合。まず日中韓で新分類移行の進め方を協議。(2面)

日産車体、商用车に韓国製部品
26社から200点、2割
日産車体は、2012年夏に全面改良する商用车「キャラバン」に韓国製部品を初めて採用する。韓国26社からボディーや内装部品など約200点。金額ベース(駆動系を除く)で2割に達する。(5面)

銅張積層板、タイに新生産拠点
三菱ガス化学/海外向け安定供給
三菱ガス化学は、携帯電話などに搭載するプリント配線板の材料の銅張積層板の新生産拠点を2013年にタイに新設する。日本の生産が震災で一時的停止。安定供給を望む海外顧客に応えた。(12面)

グリコ、ベトナム社に出資
年間売上高30億円
江崎グリコは、ベトナムの菓子メーカー、キンドと資本・業務提携した。キンドが第三者割当増資で発行する普通株式1400万株をグリコが取得。年間売上高30億円を目指す。(15面)

1月20日(金)

タイ、最低賃金4割上昇
消費底上げ/コスト上昇
タイで4月に政府が定める最低賃金が4割引き上げられる。所得が増え耐久消費財の需要が拡大するとの見方。一方、生産コスト上昇の懸念は強い。日系企業は戦略の見直しを迫られる。(1面)

台湾で自主設計開発を加速
日本航空電子/低価格を供給
日本航空電子工業は、台湾工場でコネクターなどの自主設計開発を強化する。低価格など需要に沿った製品を投入するため、現地で独自開発する。パソコンO

1月19日(木)

キリウ、中国に生産委託
日産向け/ブレーキ部品月1000トン
キリウは、中国で自動車用鋳造部品を製造する富士機械工業にブレーキ部品の生産を委託する。2014年に月1000トンの規模。主要顧客である日産自動車の中国生産増強に対応する。(5面)

コイルバネ素材を現地調達
中央発條/まず1車種

中央発條は、夏までに中国で生産する主力のコイルバネの素材を現地調達に切り替える。現在、ほぼ全量を日本から輸入。まず1車種向けの素材を現地に切り替え、順次拡大する。(5面)

森精機、瀋陽機床から鋳物
月500トン/為替リスク抑える
森精機製作所は、4月をめぐに中国の大手工作機械メーカーの瀋陽機床から月500トンの鋳物を調達する。ドルで購入して為替変動リスクを抑制し、工作機械のコスト競争力を強化する。(6面)

ATMで「銀聯カード」
地銀に提供/NTTデータ
NTTデータは、日本のATMで中国の「銀聯カード」を使うようにするソフトウェアを地方銀行向けに提供する。現金の引き出しや残高照会が可能。京都銀行が同日から導入した。(9面)

中国での研究開発を加速
ダイセル/新エネ・環境に軸足
ダイセルは、中国での研究開発を強化する。従来のキラル化合物に加えて、新エネルギーやエレクトロニクス、環境関連にも取り組む。新エネや水処理関連が拡大、この需要を取り込む。(12面)

1月20日(金)

不二越、江蘇省に新工場
油圧機器・精密工具/建機など向け
不二越は、江蘇省張家港市に自動車、建設機械、工作機械向け油圧機器や精密工具の工場を建設し、2013年1月に操業する。ショールームを併設する。工作機械やロボットの生産も検討。(8面)

ハーベス、潤滑剤を中国生産
デジカム・事務機器向け
ハーベスは、デジタルカメラや事務機器向けの潤滑剤の工場を中国に秋をめど

に開設する。現地の日系企業を中心に供給する。中国向け低コスト品は現地生産に切り替える。(18面)

TELOP

ホンダ、中国販売4.5%減
昨年61万7764台(時事=10日2面)
LIXIL、中国に生産合併
キッチン月7000台(10日13面)
上海に金融統括子会社
日本電産(11日3面)

ルノー、中国に生産拠点
政府に申請/東風合意(時事=11日3面)
受配電機器、低価格型を集中投入
富士電機機器制御(12日8面)
LED照明、上海で生産
NECライティング(13日8面)
ANAセールスが上海支店
中国人の国内旅行者取扱(16日17面)
SRスポーツ、上海に事務所
中国・韓国・東南ア調査(16日17面)
村田製作所、合肥市に事務所
中国5カ所目の拠点(19日8面)
中部薬品、中国社と資本提携
ドラッグストア手法提供(20日21面)

ひと

昇龍に乘れ



宮田孝一さん。「(中国で事業を進める)日本企業と取引するだけでビジネスチャンスは増える」と、昇龍に乗っていく構えだ。(13日=15面)

「銀聯」で観光を振興



銀聯カードの取り扱いを始めた京都銀行会長の柏原康夫さん。京都市観光協会会長でもあり「観光振興は不便なところを解決することが大事」。(20日=23面)

とも寄与している」と滑らかな口調なのは、良品計画社長の金井政明さん。「アジアに無印良品の思想を広げて、2013年度末に100店舗体制」と、アジアを一層攻略する考えだ。(20日=21面)

タイ洪水

ソニーTV、タイで攻勢
買替時値引き/水害品すべて対象
ソニーは、タイでのテレビ販売で攻勢をかける。洪水でテレビが故障した消費者がソニー製を購入する場合、新規購入機種によって最大数十%を値引き。需要は洪水前の水準に戻る。(9日=1面)

洪水被害の企業、8年免税
国外への移転防ぐ
タイ投資委員会は、洪水で被災した企業がタイで投資を続ける場合、法人税を8年間免除する。現在、8年の免税は環境分野などに限定。免税対象を広げて国外への移転を防ぐ。(9日=2面)

タイ、治水計画を練り直し
工業団地周辺の防水対策を強化
タイが洪水からの復興を急ピッチで進めている。今年の雨期まであと半年。タイ政府は工業団地周辺の防水対策を強化すると同時に、国全体の治水計画の練り直しを急ぐ。(11日=深層断面=26面)

工作機械、600台が水害に
森精機/自社調査
森精機製作所は、タイ洪水被害の自社調査で、顧客の工作機械約600台が水害に。約100台は代替が必要な全損。約400台は判定が難しい。残りの約100台は顧客が廃棄する予定。(19日=6面)

ケーヒン、生産を本格再開
エンジン周り部品(17日3面)
不二精機、貸工場で一部生産開始
プリンター部品(17日6面)

東洋エンジ、マレーシアで受注
バイオエタノール製造設備(19日6面)
HOYA、アユタヤ工場4月再開
メガネレンズ(20日9面)

ひと

タイは安全



「洪水は沈静化。観光客誘致は継続していく」と意欲をみせる、タイ観光庁アジア南太平洋担当副総裁のサンスーン・ガオランシーさん。懸念される伝染病は「水が引けた地域で調査した結果、伝染病の類はまったく報告されていない。これからも維持できる」。(11日=13面)